

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名	こども夢・チャレンジ推進事業		担当部	こども未来部	担当課	こども政策課	担当係	青少年育成係						
実施計画	3	年目												
新基本計画	市政戦略編	〇	分野別計画編	3	教育・子育て	13	子育て支援	2	地域の子育て・子育てを支援します					
予算区分	一般会計	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	青少年育成費	大	7	中	1
根拠法令・個別計画	① 第6次小牧市総合計画進基本計画		②		③									
目的	何(誰)を対象に	市民												
目的	どのような状態にするか	「こども夢チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、広くその情報を共有することで世代を越えてつながるまちづくりを推進していく。												
事業の概要	手段	どのような事業を実施するか	<ul style="list-style-type: none"> ・市内産業見学会 小学5・6年生及び中学生を対象に、夏休みに市内企業見学や職業体験を開催する。 ・ドリームバスギャラリー ピーチバスの車内に園児たちの絵画を掲示し、こどもの夢を共有する機会をつくる。 ・夢にチャレンジ助成金支給事業 16歳以上 25歳以下の高校、大学、専門学校等の在籍者を対象に、チャレンジしたい計画を発表し、定員6人に上限30万円を助成する。 ・海外留学奨学金支給 3ヶ月以上海外留学する大学生等を募り、12回を上限に月額3～5万円支給する。 ・こども夢サポーター制度 こどもの夢を応援する企業や団体等から登録を募り、登録証やこまき山ぬいぐるみを贈呈して、各々の特徴的な取組みをPRしていく。 ・駒来塾 民間の学習塾等に通っていない中学生を対象に、基礎学力の定着をめざして学習支援を行う。 ・プログラミング講座 小学4・5・6年生及び中学生を対象に、デジタルのモノづくりを楽しく学ぶ講座を開催する。 											
	事業内容													
概要	28年度	<p>夢へのチャレンジを応援する事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内産業見学会 市内4企業の見学と市民病院・消防署での職業体験を行った。 ・ドリームバスギャラリー 市内幼稚園(太陽、名北ゼンヌ、旭ヶ丘、市之久田)の年長園児の絵画をピーチバスの車内に掲示した。 ・夢にチャレンジ助成金支給事業 参加者4人と1グループ(5人)に、合計1,262千円の助成金を支給した。 ・海外留学奨学金支給 2名の応募申請をいただき、選考委員会を開催した。 ・こども夢サポーター制度 26団体・企業からの応募があり、登録証の交付と「こまき山ぬいぐるみ」の贈呈を行った。 												
	29年度	<p>夢へのチャレンジを応援する事業を2事業増やした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内産業見学会 市内3企業の見学と1企業の体験と見学、病院看護師と警察官の職業体験を行った。 ・ドリームバスギャラリー 市内幼稚園(美鳥、美鳥第2)の年長園児たちの絵画作品を掲示して、こどもの夢を共有する機会をつくった。 ・夢にチャレンジ助成金支給事業 高校生1名と1グループ(3名)に、合計600千円の助成金を支給した。 ・海外留学奨学金支給 2人に合計376千円の奨学金を支給した。 ・こども夢サポーター制度 広報等をとおして、企業・団体へ登録申し込みを受け付けた。 <p>[新規事業として]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駒来塾 モデル事業として北里・東部地区で2教室を、平成29年8月から開設した。 ・プログラミング講座 定員20人の応募をいただき、平成29年11月から中部大学で開催した。(3年間実施予定) 												
	30年度	<p>平成29年度と同様の7事業を行うが、①市内産業見学会②ドリームバスギャラリー③夢にチャレンジ助成金支給事業④海外留学奨学金支給の4事業については、内容など見直し検証を行い、まちづくり推進計画の策定に合わせて、内容変更又は廃止について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駒来塾については、2教室から3教室に拡大して、受講生や学習支援員等を募り、開催する。 												

事業費	財源内訳(千円)	H28		H29		H30
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
		合計	6,218	2,348	7,778	3,039
事業費内訳(千円)	国支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,208	1,270	6,679	172	1,012
	特定財源の説明	1,010	1,078	1,099	2,867	8,181
事業費内訳(千円)	細々節	H28		H29		H30
		当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
	駒来塾講師謝礼	—	—	397	503	2,203
	海外留学奨学金選考委員謝礼	120	60	120	60	120
	夢チャレ委員会委員謝礼	122	91	122	91	122
	ボランティア謝礼	30	0	30	0	30
	夢サポ取材協力者謝礼	10	0	10	0	10
	駒来塾検討委員会委員謝礼	—	—	370	362	216
	駒来塾面接謝礼	—	—	—	—	—
	消耗品費	629	537	526	435	170
	食糧費	70	44	69	35	88
	印刷製本費	25	24	25	24	0
	通信運搬費	46	0	46	0	111
	広告料	270	234	270	270	270
	保険料	3	3	22	32	88
	駒来塾委託事業	—	—	—	—	—
	プログラミング講座委託料	—	—	160	160	160
	バス借上料	243	92	211	91	205
	海外留学奨学金	2,850	0	3,600	376	3,600
	夢チャレ助成金	1,800	1,263	1,800	600	1,800
従事者数	正職員(人数)	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0
	その他職員(人数)	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5

事業	ステップ	事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30
		①	②						
		目標	実績						
ステップI	①	夢育み事業に参加したこどもの数	人	—	300	300	300	300	
				—	630	289	335		
	②	目標							
		実績							
	事業の活動指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
	①	子ども夢・チャレンジ推進事業数	人	—	4	5	7	7	
②	目標		—	4	6	7			
		実績							
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因									
H29実施結果 29年度は、7事業(市内産業見学会・夢にチャレンジ助成金支給事業・大学生等海外留学奨学金支給事業・ドリームバスキャリヤー・夢サポーター制度・駒来塾・プログラミング講座)を行った。 2事業(駒来塾・プログラミング講座)を増やしたことにより、参加人数が増えた。									
今後の見通し、要因を踏まえた事業の見直し									
H29実施結果 29年度から開設した、中学生を対象にした学習支援事業「駒来塾」と、小学4・5・6年と中学生を対象にした「プログラミング講座」の2事業については引き続き取り組んでいく。ただし、既存事業については、見直しを図り、より効果的な事業実施に向けての検討を行っていく。									

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
	判定理由	こども達が自身の将来に希望や夢を持ち、その実現に向けてチャレンジしようとする気持ちを喚起させるための支援と環境を整備する必要がある。「子ども夢・チャレンジNo1都市」の実現のため、駒来塾の拡充をはじめ、こどもが育む夢の実現が叶えるよう事業を見直しながら進めていく。	